

I 概 況

I-1 賀茂地域局管内図



凡 例	
— · · · —	市町境界
■ ■ ■ ■ ■	伊豆急行線
—	主要道路

I-2 市町の沿革

市町名	年月日	沿革	総面積 (可住地面積, 割合)
下田市	明 22. 4. 1	町村制施行により、下田町、稲梓村、稲生沢村、浜崎村、朝日村となる。	104.38 k m ² (25.30 k m ² , 24.2 %)
	明 29. 8. 20	白浜村、浜崎村から分村。	
	昭 30. 3. 31	下田町、稲梓村、稲生沢村、白浜村、浜崎村、朝日村の6ヶ町村合併し、下田町となる。	
	昭 46. 1. 1	市制施行し、下田町が下田市となる。	
東伊豆町	明 22. 4. 1	町村制施行により、城東村、稲取村となる。	77.81 k m ² (20.39 k m ² , 26.2 %)
	大 9. 12. 1	町制施行し、稲取村が稲取町となる。	
	昭 34. 5. 3	稲取町と城東村合併し、東伊豆町となる。	
河津町	明 22. 4. 1	町村制施行により、上河津村、下河津村となる。	100.69 k m ² (18.97 k m ² , 18.8 %)
	昭 33. 9. 1	上河津村と下河津村合併し、河津町となる。	
南伊豆町	明 22. 4. 1	町村制施行により、竹麻村、南崎村、南中村、南上村、三浜村、三坂村となる。	109.94 k m ² (24.59 k m ² , 22.4 %)
	昭 30. 7. 31	竹麻村、南崎村、南中村、南上村、三浜村、三坂村の6ヶ村合併し、南伊豆町となる。	
松崎町	明 22. 4. 1	町村制施行により、岩科村、松崎村、中ノ郷村となる。	85.19 k m ² (13.79 k m ² , 16.2 %)
	明 24. 6. 11	中ノ郷村が中川村と改称。	
	明 34. 3. 15	町制施行し、松崎村が松崎町となる。	
	昭 30. 3. 31	松崎町と中川村合併し、松崎町となる。	
西伊豆町	昭 31. 6. 1	岩科村が松崎町に編入。	105.54 k m ² (12.58 k m ² , 11.9 %)
	明 22. 4. 1	町村制施行により、仁科村、田子村、宇久須村となる。	
	明 29. 5. 14	安良里村、宇久須村から分村。	
	昭 31. 3. 31	仁科村と田子村合併し、西伊豆町となる。	
	昭 31. 9. 30	安良里村と宇久須村合併し、賀茂村となる。	
	平 17. 4. 1	西伊豆町と賀茂村合併し、西伊豆町となる。	
管内計			583.55 k m ² (115.62 k m ² , 19.8 %)
県計			7,777.35 k m ² (2,749.40 k m ² , 35.4 %)

資料：「静岡県市町村名100年の変遷」静岡県地方自治法施行40周年自治制公布100年記念事業推進協議会、「都道府県・市区町村のすがた（社会・人口統計体系）」総務省統計局など

(注) 可住地面積＝総面積－(林野面積＋湖沼面積)

I-3 地域の主なできごと

時 期	で き ごと
昭和36年 12月 10日	伊豆急行開通
昭和37年 8月 29日	東伊豆有料道路全区間開通
昭和46年 1月 1日	下田町が下田市となる
昭和47年 12月 12日	南伊豆有料道路開通
昭和48年 11月	石油危機（オイルショック）
昭和49年 5月 9日	伊豆半島沖地震
昭和50年 10月 7日	前線通過による集中豪雨
昭和51年 7月 11日	伊豆半島を中心とする大雨
昭和51年 8月 18日	河津町を中心とする地震
昭和51年 10月 9日	集中豪雨
昭和53年 1月 14日	伊豆大島近海地震
昭和54年 10月 19日	台風20号
昭和55年 6月 ～7月	伊豆半島東方沖群発地震
昭和55年 7月 ～8月	異常気象（冷夏）
昭和57年 4月 1日	東伊豆有料道路無料開放
昭和57年 8月 ～9月	台風襲来（8. 1 台風10号、9. 12 台風18号）
昭和58年 8月 1日	南伊豆有料道路無料開放
昭和58年 8月 16日	台風5号
昭和59年 9月 1日	伊豆半島東方沖群発地震
昭和63年 6月 ～8月	異常気象（長雨・冷夏）
昭和63年 7月 ～8月	伊豆半島東方沖群発地震
平成元年 6月 ～7月	伊豆半島東方沖群発地震（7. 13 海底火山噴火）
平成3年 9月 10日	伊豆半島南部の集中豪雨（9. 10～11. 12 伊豆急行線一部不通）
平成5年 5月 ～6月	伊豆半島東方沖群発地震
平成5年 7月 ～8月	異常気象（長雨・冷夏）
平成7年 9月 ～10月	伊豆半島東方沖群発地震
平成9年 3月	伊豆半島東方沖群発地震
平成10年 4月	伊豆半島東方沖群発地震
平成10年 9月 23日	伊豆半島南部の集中豪雨（国道135号通行止め）
平成11年 12月 31日	伊豆新世紀創造祭開催（1999年12月31日～2001年1月1日）
平成12年 3月 18日	「天城トンネル」有料道路無料開放
平成12年 6月	三宅島噴火及び新島・神津島近海地震
平成16年 10月 9日	台風22号（石廊崎にて観測史上最大瞬間風速を観測）
平成17年 4月 1日	西伊豆町と賀茂村合併し、西伊豆町となる
平成18年 8月 22日	青野大師ダム（南伊豆町）が完成する
平成21年 8月 11日	駿河湾を震源とする地震
平成21年 12月	伊豆半島東方沖群発地震
平成23年 3月 11日	東北地方太平洋沖地震（震災の影響による経済被害）
平成24年 9月 24日	伊豆半島の日本ジオパークネットワーク加盟が認定される
平成25年 7月 17日	西伊豆町の集中豪雨
平成26年 2月 11日	東駿河湾環状道路（三島塚原IC～函南塚本IC）開通
平成26年 6月 28日	国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）（相模原愛川IC～高尾山IC）開通
平成27年 7月 8日	東名高速道路、中央自動車道、関越自動車道が接続 韮山反射炉を含む「明治日本の産業革命遺産」が 世界文化遺産に正式登録される
平成30年 3月 9日	「水わさびの伝統栽培」が世界農業遺産に正式登録される
平成30年 4月 17日	伊豆半島ジオパークがユネスコ世界ジオパークに正式登録される
平成31年 1月 26日	天城北道路、下船原バイパス開通
令和元年 9月 ～10月	台風襲来（9. 8 台風15号、10. 12 台風19号）
令和2年 1月 ～	新型コロナウイルス感染症拡大
令和3年 7月 3日	熱海市伊豆山土石流災害